



輝け！北っ子！



3年 リコーダー講習会 ～プロに学ぶ 最初の出会いを大切に～

5日、3年生を対象に「リコーダー講習会」を開きました。3年生から音楽では、リコーダーに取り組むことになり、そのはじめの指導、リコーダーと出会いを意識して開催したものでした。講師はプロの音楽家下中拓也さん。リコーダーの演奏はもちろん、作曲や編曲なども行うプロの音楽家の方をリコーダーを購入した業者から派遣してもらいました。

授業は盛りだくさん。とても内容の濃いものでした。リコーダーの扱い方、演奏時の姿勢はもちろん、子どもたちが使うソプラノリコーダー以外のリコーダーの紹介、そして、圧巻の「生演奏」。あっという間の45分でした。後で話を聞いたところ、全国、色々な場所でリコーダー講習会を行っている講師の方で、すでに今年度、100校以上回っているという話でした。

子どもたちは驚きと感動の中で、しっかりと基礎の基礎となる技能をつかみ、リコーダーへの興味がぐんと増したようでした。やっぱり「プロ」と呼ばれる人はレベルが違うなあと感じた時間でした。



子どもたちは驚きと感動の中で、しっかりと基礎の基礎となる技能をつかみ、リコーダーへの興味がぐんと増したようでした。やっぱり「プロ」と呼ばれる人はレベルが違うなあと感じた時間でした。

ちょっといい話 ～ボランティアは気持ちがいい～

先月末、4年生の男の子から手紙をもらいました。内容は次の通りです。

校長先生、お忙しい中すいません。4年●組の●●です。ぼくは考えたことがあります。それはゴミ拾い運動をしたいと思いました。理由は、土曜日に校庭で遊んだときにゴミが落ちていたからです。その時はぼくが拾いました。ゴミ拾いをしたらとてもいい気持ちになったので学校でもできたらいいなと思いました。例えば、業間や昼休みにやりたい人だけやったり、VS活動の時間にやったりするのがいいと思いました。まずは校長先生の許可が必要だと思ったのでお手紙を書きました。よろしくお願ひします。

もちろん校長の許可など必要ないのですが、とても素晴らしい+αの活動だと感じたのですぐに返事を書きました。「ゴミ拾い活動、素晴らしいアイデアですね人のためになることをするって『気持ちがいい』って気づくってすごいですね。(中略)もしやるときが決まったら声を掛けてください。一緒にやりましょう。」と。



5日の昼休み、その子が校長室にやってきて一緒に「ゴミ拾い活動」を行うことになりました。校庭の端の側溝や草の中など落ちていたゴミを拾いました。活動をしているといろいろな子が声を掛けてくれ、ゴミをみつけて拾ってくれるようになりました。短い時間だったかもしれませんが、とっても気持ちのいい時間になりました。ボランティア活動っていいことだからするだけではなく、「気持ちがいい」からするのかもしれない時間になりました。ありがとう。第2弾もありそうです。

保護者の皆様からの声をお待ちしています。

～学校に対するご意見・ご感想等お気軽にお寄せください(または assist.nihonmatsukita-e@fcs.ed.jp まで)～

..... 切 り 取 り 線

